

年間目標		<p>○保健的で安全な環境のもと、一人ひとりの子どもの欲求を十分に受けとめ、生命の保持と情緒の安定を図る。</p> <p>○身の回りのことを自分でしようという意欲を育てる。</p> <p>○全身や指先を使った遊びを十分に楽しみ、丈夫な体をつくる。</p> <p>○保育教諭の仲立ちにより、模倣やごっこ遊びを楽しみながら友だちとのかかわりを広げていく。</p>				
期	Ⅰ期（4～5月）	Ⅱ期（6～8月）	Ⅲ期（9～12月）	Ⅳ期（1～3月）		
子どもの姿（発達の状況）	<ul style="list-style-type: none"> 環境の変化に戸惑う子もいるが、保育教諭とのかかわりの中で、信頼関係が生まれ、安定した生活を送る。 園生活に慣れてくると簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 好きな遊びを楽しんだり、友だちと同じ事をしたりする姿が見られる。 自己主張やこだわりが出てくると共に、トラブルが起こることがある。 歌ったり手遊びをしたりすると、模倣し身体を動かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 一日の生活の流れがわかり、安定して過ごす。 身の回りのことなどを自分でしようとする気持ちが芽生えてくるが甘え、手伝ってもらおうとする姿みられる。 興味を持った遊びをまねる姿があり、遊びの幅が広がる。 色々な遊びに興味をもつようになり友だちとの関わりも増えるが、トラブルも多くなる。 身近な自然物などへの関心が深まり、屋内外の様々な環境を利用して遊ぶ。 経験したことや感じたことを身振りや言葉で伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来ないことは手伝ってもらいながら、身の回りのことを自分でする。 自分の行動に自信がもてるようになり、意欲的に遊んでいる。 交代したり、順番を守ったり出来ることもあるが、先を争ってトラブルになる。 気の合う友だちとかかわり、言葉のやりとりをしながら楽しく遊ぶ姿が見られる。 運動遊びやリズム遊びなど全身を動かすことを喜ぶ。 散歩先や園庭で、自然物にふれて遊ぶ。 身近な物や事柄に関心をもち、「なぜ?」「どうして?」「どうやってするの?」など質問が盛んになり、名称や用途、特徴などを知ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指先の機能が発達し、身の回りのことを保育教諭に見守られながら最後まで自分でしようとする。 順番を守ったり、友だちに物を貸したりなど、時には我慢することも受け入れようとしている。 友だちとの関係が深まり、自分の言葉で要求を伝えることが出来る。 想像力の芽生えとともに、絵本やお話、紙芝居などを好むようになる。 歌やリズムなど興味を持った事柄を友達と一緒に楽しむ。 進級にあたり、3歳児の姿を見たり、クラスに遊びに行き一緒に過ごす。 		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境や保育教諭、友だちに慣れ、喜んで園生活を過ごせるようにする。 不安や欲求を受け止められながら、安心して自分の気持ちを表すことが出来るようにする。 保育教諭に見守られながら好きな遊びを見つけて遊ぶ。 散歩や戸外遊びを通して自然に親しみ、のびのびと遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な休息を取りながら、梅雨や暑い時期を健康で快適に過ごせるようにする。 一人ひとりの気持ちを十分に受けとめ、信頼関係を深める。 手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 保育教諭や友だちとかかわりながら、夏の遊びを十分に楽しみ開放感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の変化や気温に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。 一人ひとりのやりたいという気持ちを受け止め、情緒の安定を図る。 手伝ってもらったり、見守ってもらったりしながら、簡単な身の回りのことをする。 十分に身体を動かして遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びに必要な習慣やルールが身につき、自分で出来ることが増え、自信が持てるようにする。 異年齢児とのかかわりが深まっていき、進級することに期待を持つようにする。 保育教諭や友だちと十分にかかわって遊び、言葉のやりとりや表現を楽しむ。 自然の変化を感じながら、季節の遊びを楽しみ、元気に遊ぶ。 		
育てたい内容(経験してほしいこと)	養護	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの健康状態に気を配り、適切な対応をしていく。 保育教諭との安定した関係のなかで、園生活の流れを知り、安心して過ごせるようにする。 一人ひとりの気持ちを十分に受け止め、優しく問いかけ、保育教諭との信頼関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> 疲れやすい時期なので、一人ひとりの健康状態に気を配り、水分補給や休息と活動のバランスをとり、快適に生活が出来るようにする。 一人ひとりの甘えや要求を受け入れ、安心して生活できるように流れや環境を整える。 外気と室内の温度差を考慮しながら、衣服の調節を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の変化に伴い衣服の調節を心がけ、薄着の習慣が身につくように配慮し、元気に過ごせるようにする。 自分でしようとする気持ちを大切に受け止め、自分で出来たことを認め自信をもてるようにする。 遊具の配置や安全を確かめ、子どもが楽しく遊べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外気との温度差を考慮して、室内の暖房、換気を行い、気持ちよく生活出来るようにする。 基本的な生活習慣の習得を一人ひとりに合わせて援助し、一人で出来た喜びを味わい自信がもてるようにする。 一人ひとりの言葉や思いを十分に受けとめ、安心して自分の気持ちを表現できるようにする。 	
	健康 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> 手伝ってもらいながら、簡単な衣服の着脱や始末を自分でしようとする。 保育教諭に見守られながら、スプーンやフォークを使って食べる。 苦手な物を少しずつ食べようとする。 自分のマークで、自分の持ち物の置き場所がわかり、自分の物と人の物との区別が気づく。 保育教諭と一緒に遊ぶ中で、自分の好きなことを見つけて遊ぶ。 好きな固定遊具や運動遊具を使い、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 春の自然の中で、草花や小動物にふれて遊ぶ。 玩具や生活用品の名称、使い方に興味をもち、言葉で表したり、用途を知ったりする。 挨拶やしたいこと、してほしいことを言葉や態度で表わす。 絵本を繰り返し読んでもらうことを楽しむ。 保育教諭と一緒に簡単な歌や手遊び、リズム遊びを楽しむ。 クレパスやマーカー、絵の具でなく塗り描きをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な身の回りのことに興味を持ち、自分でしようとする。 尿意を伝えたり、保育教諭に声をかけられたりしてトイレで排泄しようとする。 スプーンやフォークを使いながらよく噛んで食べ、必要に応じて量を加減してもらい、食べ終える喜びを知る。 集団生活に必要なきまりを知り、保育教諭に仲立ちされながら待ったり譲ったりする。 友だちの名前に興味をもち、名前を呼び合い一緒に遊ぶ。 保育教諭や友だちと一緒に、土や水、砂に触れながら、全身を使って夏の遊びを楽しむ。 簡単な数・色・形の違いに気づく。 梅雨期の小動物や自然物に興味を持ち親しむ。 見たことや身近なことを保育教諭に話そうとする。 保育教諭や友だちと一緒に絵本や紙芝居を喜んで見る。 保育教諭や友だちと一緒に模倣遊びやごっこ遊びを楽しむ。 保育教諭や友だちとリズムに合わせて、歌ったり、踊ったりする。 クレパスやマーカー、絵の具で丸を描いて遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 手伝ってもらったり、見守られたりしながら身の回りのことを自分で行う。 言葉や動作で尿意を伝え、トイレに行き排泄をする。 スプーンやフォークを正しく持とうとし、自分で食べる。 身近な玩具や生活用品の正しい使い方がわかり、使う。 友だちと遊びながら、順番や貸し借りなどの簡単なルールを知る。 全身を使って、走る、跳ぶ、登る、ひっばるなどの遊びを楽しんだり、坂道やでこぼこ道を歩き、体のバランスをとったりする活動を楽しむ。 固定遊具や運動用具などの使い方を知り、種類や遊びが広がり、いろいろに組み合わせて試して遊ぶ。 戸外遊びや散歩を通して、秋の自然物を遊びに取り入れて楽しむ。 保育教諭や友だちとごっこ遊びや見立て遊びを通して、言葉のやりとりをする。 保育教諭と一緒に歌ったり、身体を動かしたりして表現することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ひとつ大きくなることを楽しみにし、身の回りの出来ることは自分で行う。 食事のマナーがわかり、スプーンやフォークを正しく使って食べる。 箸に興味を持つ。 寒さに負けず身体を十分に動かして遊び、保育教諭や友だちと一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。 友だちや異年齢児と遊んだり、過ごしたりすることを喜ぶ。 冬の自然に触れ、さまざまな発見を楽しむ。 いろいろな方法で表現遊びをする。 手伝ってもらったり見守られたりしながら、切ったり、貼ったりして、作ることを楽しむ。 簡単な物語の内容がわかり、言葉のやりとりをしながら、ごっこ遊びを楽しむ。 	
とせ て 家庭と	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生活リズム、食事、睡眠、排泄などについての大切さを家庭とともに確認し、連携を密にしていく。 梅雨期や夏季の衛生面についての配慮の仕方や風邪などの感染症が流行しやすい時期は、家庭でも予防の習慣がつくように配慮し健康管理に留意してもらう。 				<ul style="list-style-type: none"> 行事や親子で楽しむ機会をつくり、ふれあいを深める。 一年間の成長を保護者とともに喜び、子どもへの接し方など保護者の思いを聞きながら、子育ての援助をする。 	